

智光こども園 教育・保育活動に対する学校評価

今年度は各自が各項目に自分の目標を立て 10 月末に中間評価を出し、その後 1 年を振り返り最終評価を出しました。各項目に園として評価を出しました。評価理由と共に報告いたします。

評価項目	評価	理 由
保育の計画性	B	各学年、年間・月案・週案・日案について話し合い、子ども達に無理のない保育計画を立てることができた。一つひとつ無理なく実践できた。来年度は学年の接続についても丁寧に計画していきたい。
保育のあり方 幼児への対応	B	個々の子どもの事を考え配慮して接する努力はしている。十分に個々の子どもに沿った援助や言葉がけができていない部分は克服できるよう努力していく。
教師としての資 質・能力・適正	B	園内外における研修等で新たな理解を深める事が出来た反面、それがなかなか活かすことができない教員も多い。次年度以降も継続して努力すべき点である。
保護者への対応	C	丁寧に対応する努力は心掛けた。継続して子どもの様子を丁寧に保護者の方々にお伝えしていかなければならない。常に園児一人ひとりに気を配り、全ての保護者に対しこまめに連絡を取りながら進めていかななくてはならない。
地域との自然や 社会との関わり	B	近隣の地区に出て様々な自然と触れ合う機会が今年度も増えた。来年度以降もバランスを考えながら活動をしていきたい。また、触れることができた自然関わる活動に対しても更に広がる活動をしていきたい。
研修と研究	A	園内の研修や外部の研修に参加し多くの刺激や技能、知識等を得る事が出来た。本年度は、ECEQ という大掛かりな公開保育による研修を行うことができ、大きな成果を得た。 来年度に向け、また継続して努力していきたい。

A—十分達成されている

B—ほぼ達成されている

C—取組まれているが、成果が十分でない

D—取り組みが不十分である

来年度も年度当初に自己目標を設定し、半年ごとに振り返り日々の保育を進めていきたいと思ひます。これかも常に丁寧な保育、幼稚園運営を心掛けていきたいと思ひます。